

川崎区地域福祉計画
策定にあたって

第1章

(1) 川崎区地域福祉計画の位置付けと策定の趣旨

川崎区では、近年大規模マンションの建設が進み、若い世代の転入者が多くなっています。また、外国人市民★やひとり暮らし高齢者は市内で最も多くなっており、障害のある人の数も増えています。心身の健康問題や孤立化、育児や災害に対する不安、生活困窮など課題も多様化、複雑化しています。

わたしたちの身近な課題・困りごと

子育てをしている
仲間を作って、いろいろな
情報が知りたい！



引っ越してきたけれど
近所に知り合いも
いないし、どんなまち
なんだろう？



子どもの障害が周囲から
理解してもらえない



最近物忘れがひどい
誰に相談したら
いいのかな



日本語が読めないので
申請書の書き方が
わからない



最近は風水害が多くて
避難できるか心配



仕事をやめてから
生きがいを感じられない…



あまり
出歩かなくなって
足腰が弱ってしまった



★外国人市民：本市では、外国籍の住民は地域社会を構成するかけがえのない一員と考え、平成8(1996)年の川崎市外国人市民代表者会議条例の制定から「外国人市民」という言葉を使用しています。また、本計画では、外国籍の住民だけでなく、日本国籍であっても外国につながりのある人(国際結婚により生まれた人、中国帰国者、日本国籍を取得した人等)も視野に入れて使用しています。

このような課題・困りごとを解決するには・・・

これらの課題は、区民一人ひとりの力だけで解決できるものではありません。課題を解決するためには、区民の皆さん、地域活動団体、関係機関、行政等がそれぞれの役割の中で、お互いに力を合わせる関係を作り、隣近所をはじめとする身近な地域での助け合いや、地域活動団体やボランティアの活動、公的サービスなどを組み合わせて、支援の輪を広げていく必要があります。

「川崎区地域福祉計画」は、市全体の課題解決に取り組む「川崎市地域福祉計画」のもと、川崎区の地域性に応じた具体的な施策を取りまとめています。より地域に密着した支え合いの仕組みを作り、暮らしやすいまちづくりをめざすための行政計画として、「川崎区地域福祉計画」を策定します。

コラム 2

地ケアをもっと知ってほしい！

～川崎区地域包括ケアシステム普及啓発キャラクター「ちけあ丸」～

川崎区では、子どもから高齢者まで、より多くの区民の方に地域包括ケアシステム（略称：地ケア）を知ってもらうため、普及啓発キャラクターの「ちけあ丸」を活用した広報を行っています。本計画書にも登場していますので、ぜひ探してみてください。

まる ちけあ丸



（まえ）



（うしろ）

- 【 出身地 】 川崎市川崎区
- 【好きなもの】 おむずび、久寿餅、長十郎梨
- 【好きなこと】 ひまわりを育てること
- 【 特技 】 争いごとを丸く収める
- 【 座右の銘 】 七転び八起き

大師名物の土産物のひとつである「だるま」をモチーフとし、区の木である「いちよう」の飾りや「川」の字をデザインすることで、川崎区らしいキャラクターにしています。名前の「ちけあ」は「地ケア」を柔らかく表し、名前の「丸」と丸い体は「丸→輪→地域の輪」を意味しています。「ちけあ」と「丸」を合わせることで、世代を問わず覚えやすく親しみやすい名前にしました。

地域包括ケアシステムってなに？
（川崎区ホームページ）

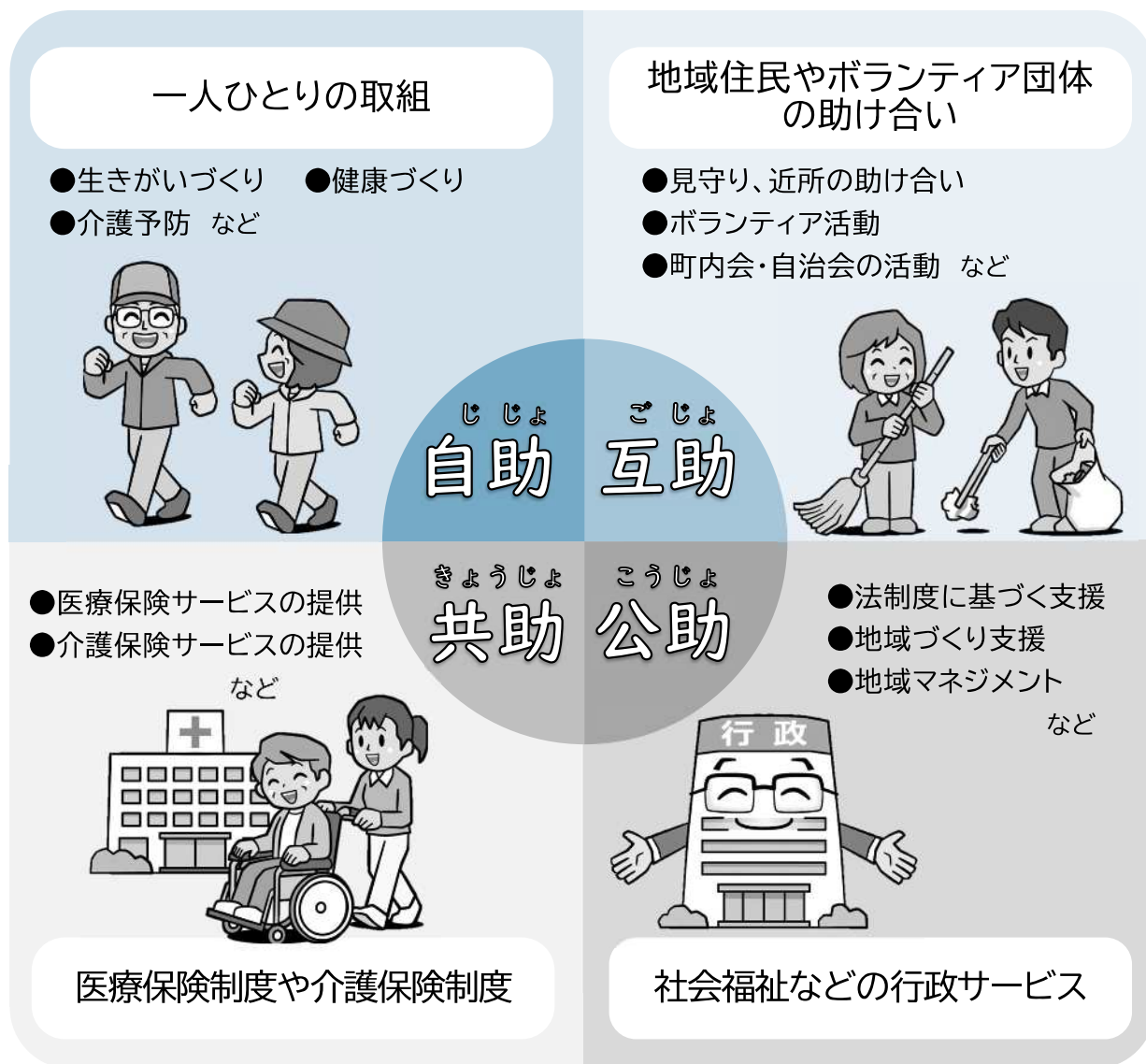


(2) 地域包括ケアシステムの構築

川崎市では、すべての地域住民を対象として「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」を策定し、その推進のために、平成28(2016)年4月、各区保健福祉センターの中に「地域みまもり支援センター」を設置しました。また、平成31(2019)年4月には、センター内での個々人へのケアを中心とした専門支援機能との連携の強化を図るため、保健福祉センター全体を「地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)」とし、「個別支援の強化」と「地域力の向上」をめざしています。

川崎区では、地域包括ケアシステムの構築に向けて多職種による地域づくりと個別支援を進めています。また、地域の多様な主体とのネットワークにより、地域の課題等について情報共有を図るとともに、顔の見える関係づくりに取り組んでいます。

地域包括ケアシステム イメージ図



(3) 川崎市社会福祉協議会との連携

川崎市川崎市社会福祉協議会(以下「区社協」という。)では「川崎市(川崎市)地域福祉活動計画」を策定しています。

「川崎市(川崎市)地域福祉活動計画」は、地域住民や地域において社会福祉に関する活動を行う人々、福祉サービス事業を行う団体が協力して、地域福祉を推進していくための民間の活動・行動計画です。

第7期川崎市地域福祉計画については、第6期計画に引き続き「川崎市(川崎市)地域福祉活動計画」と計画期間を合わせ、地域福祉事業の展開においてその機能と役割を互いにより一層果たすことができるよう、理念と目標を共通の方向性として策定段階から確認を行うなど、互いに連携して策定を進めました。

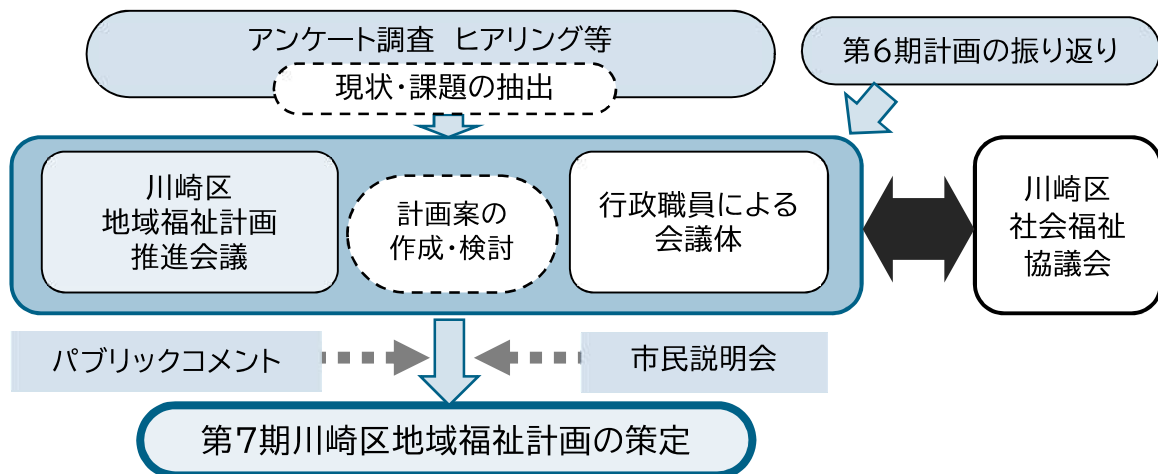
(4) 計画策定の流れ

第7期川崎市地域福祉計画を策定するにあたって、第6期計画の振り返りを行うとともに、区民や地域福祉活動に携わっている機関・団体へのアンケート調査などにより、地域の現状と課題の把握を行いました。

また、区内の各種団体を代表する委員などから構成される「川崎市地域福祉計画推進会議」において、川崎市の地域福祉の推進に向けた理念や基本目標、取組のあり方などについて、様々な視点から意見聴取を行いました。

同時に、行政職員による会議体において具体的な取組、役割分担などを検討するとともに、区社協と連携して「川崎市地域福祉計画」と「川崎市(川崎市)地域福祉活動計画」が相互に補強・補完し合えるよう検討を重ねました。

こうしてできた計画案をパブリックコメント★や市民説明会で公表し、区民の意見を踏まえて検討した上で、本計画を策定しました。



★パブリックコメント：市民生活に重要な政策等を定める際に、これらの案や関連資料をあらかじめ公表して、広く市民から意見や情報を募集することを「パブリックコメント手続」(意見公募手続)と言います。意見公募の手続そのものを指す言葉としても用いられます。

(1) 川崎区の概況

川崎区は、東海道五十三次の宿場町である旧川崎町、川崎大師平間寺の門前町である旧大師町、企業で働く人々の住宅地として発展してきた旧田島町の3地区と臨海部の埋立地で構成されています。明治時代から第二次世界大戦にかけて、東京からの工場移転等により市街地化が進み、戦後、臨海部では重化学工業地帯が形成されました。これに伴い、公害問題など様々な都市問題が生じましたが、環境改善に向けた取組を進め、現在では、過去の環境問題の経験で培われた高度な環境関連技術が生み出され、世界的なハイテク企業や研究開発機関が集積した先端産業都市の中核として成長を続けています。

臨海部の殿町地区では、国際戦略拠点「キングスカイフロント」として、ライフサイエンス・環境分野などの先端技術の研究開発拠点の整備が進められている一方で、東扇島地区では、市内唯一の人工海浜「かわさきの浜」を有する東扇島東公園や、展望室からの夜景が「日本夜景遺産」に認定された川崎マリエンなどが市民の憩いの場になっています。さらに、臨海部の工場や事業所をはじめとした生産現場を訪れる産業観光の取組が、新たな川崎の魅力として脚光を浴びています。

市の玄関口である川崎駅東口周辺地区では、駅東西の回遊性の向上を図るため、北口自由通路が整備されました。官公庁や商業・サービス業などが集積する中心市街地として充実した都市機能を有するなど、歴史・文化・産業などの魅力ある地域資源が豊富なまちです。

また、区の特色の一つとして、外国人市民人口が市内で最も多く、多文化共生のまちとしての特性も見ることができます。

◆ 川崎地区

古くは東海道の宿場町として栄えたことから、歴史的な地域資源が多く残る地区です。商業施設が多く、市の行政、経済の中心となっています。

◆ 大師地区

川崎大師平間寺の門前町として発展した歴史を持ち、下町情緒あふれる地域の残る地区です。殿町地区と羽田空港をつなぐ羽田連絡道路(多摩川スカイブリッジ)が開通し、臨海部の国際競争力の強化が期待されています。

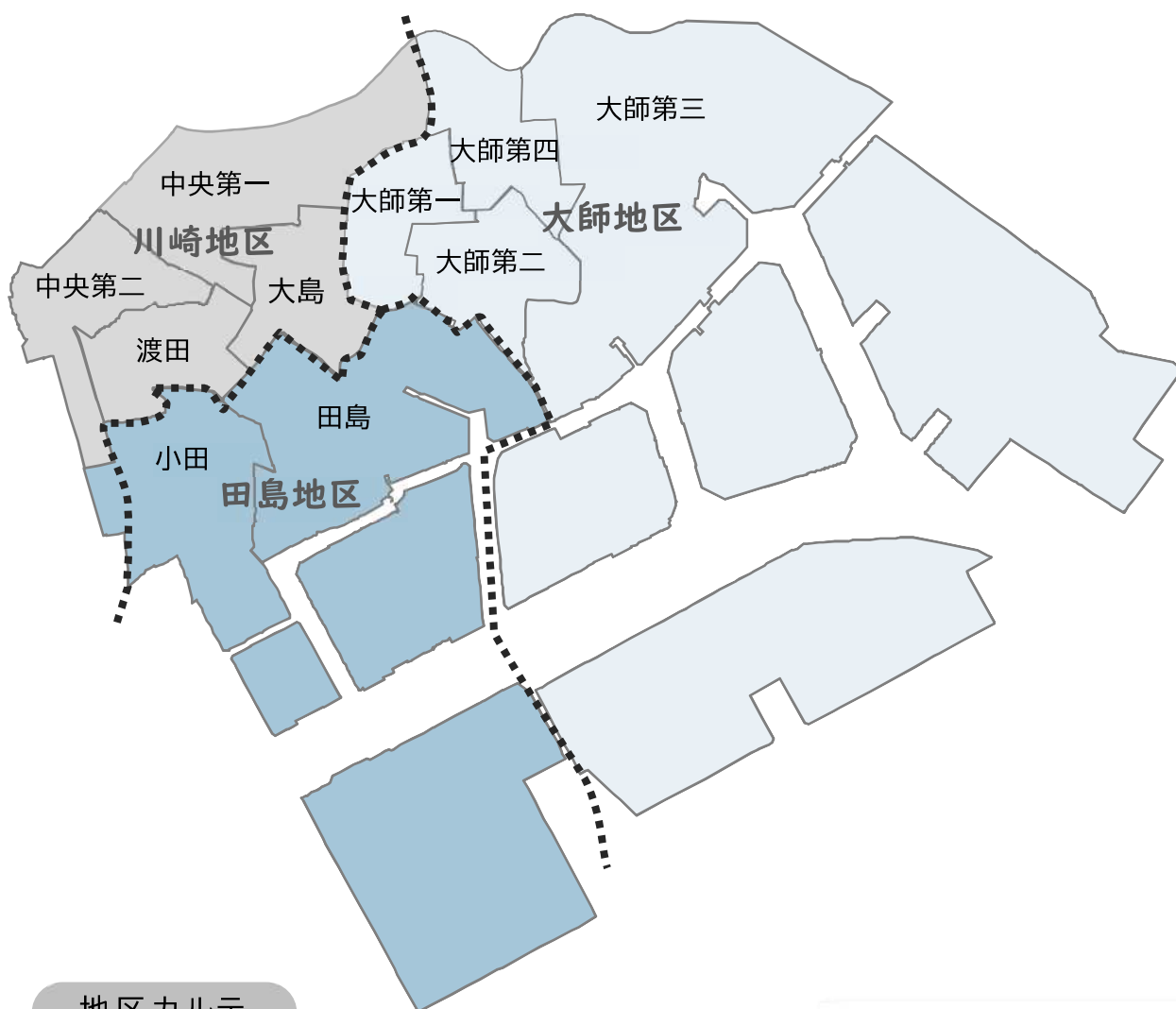
◆ 田島地区

京浜工業地帯の中心となり、そこに働く人々と町工場の住工混住地として形成された地区です。川崎地区に次いで外国人市民人口の割合が高く、コリアタウンと呼ばれるエリアもあります。

(2) 地区の概況

川崎区には、町内会・自治会、小学校区(20地区)、中学校区(10地区)、地区民生委員児童委員協議会の区域(10地区)、地区社会福祉協議会の区域(10地区)、地域包括支援センターの区域(9地区)等、様々な区域が存在します。

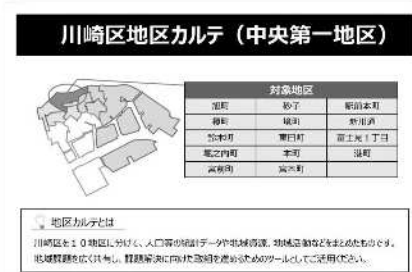
ここでは、令和2年度に市が設定した「地域ケア圏域★」の10地区について、地区ごとに紹介していきます。



地区カルテ

人口などの統計データや地域資源、地域活動等を地域ケア圏域の10地区ごとにまとめたものです。お住いの地域について情報を共有し、課題解決に向けた取組を進めていくためのツールとして活用できます。

各地区の情報については、ホームページ上の「川崎区地区カルテ」をご覧ください。



川崎区地区カルテ

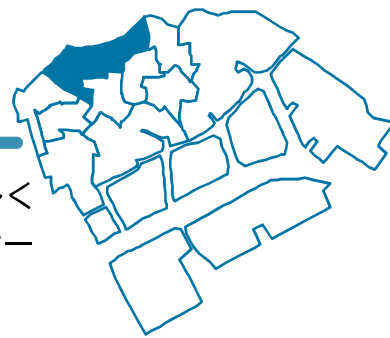
検索

★地域ケア圏域：川崎市では、地域の状況を見える化し、地域づくりの更なる推進に向けて、歴史や文化に根差した地域をベースとして、行政区よりも小さい範囲とした 44 の圏域を設定し、「地域ケア圏域」としています。この圏域は、介護保険制度上の日常生活圏域としても位置付けます。

1

中央第一地区

東海道の宿場町として栄えたことから、歴史的資源が多く残る地域で、川崎駅、京急川崎駅を中心に官公庁や商業・サービス関連施設などが集積する中心市街地です。



対象エリア

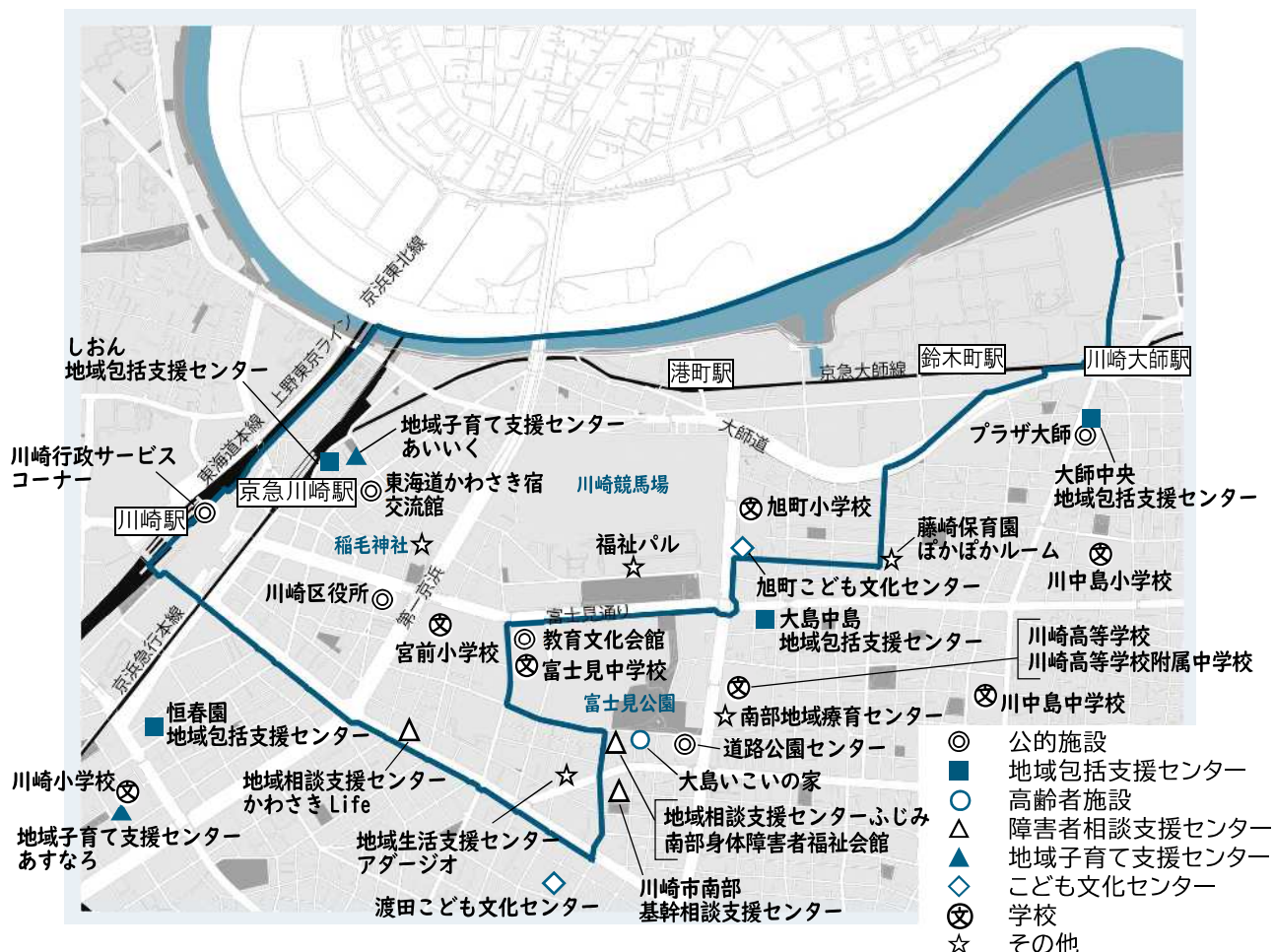
旭町1丁目	旭町2丁目	砂子1丁目	砂子2丁目	駅前本町
榎町	境町	新川通	鈴木町	東田町
富士見1丁目	堀之内町	本町1丁目	本町2丁目	港町
宮前町	宮本町			

人口動態

	人口(人)					高齢化率 (%)	世帯数 (世帯)
	地区人口	14歳以下	15~64歳	65~74歳	75歳以上		
平成29(2017)年	27,558	3,175	20,370	2,229	1,784	14.6	16,163
令和2(2020)年	28,292	3,261	20,840	2,270	1,921	14.8	16,896
令和5(2023)年	28,606	2,943	21,378	2,204	2,081	15.0	17,697

資料：川崎市統計情報「町丁別年齢別人口」「町丁別世帯数・人口」(各年6月末日現在)

地区の地図



地域の相談支援機関

子育て	地域子育て支援センター あいにく
高齢者	しおん地域包括支援センター
障害者	地域相談支援センター かわさきLife

地区の詳しい情報は
ホームページ上の
「川崎区地区カルテ」を
ご覧ください。



川崎区地区カルテ

検索

※相談支援機関の詳細は、資料編の「(1)川崎区の施設案内」(102～106ページ)に掲載しています。

中央第一地区で行った主な取組

テーマ	多文化共生のための相互理解と外国人市民の子育て支援
内容	子育て中の外国人ママ・日本人ママたちと民生委員児童委員、保健師の方々が集まり、子育ての悩みの相談先、ママのコミュニティ、まちのこと、それぞれの国の子育てや文化などについて話し、交流を行いました。



中央第一地区社会福祉協議会が行っている主な事業・取組

- ・地域福祉懇談会
- ・社会を明るくする運動
- ・ふれあい会食会
- ・赤い羽根共同募金活動
- ・視察研修／役員研修
- ・健康講話
- ・元気に歩こう会
- ・敬老祝いの会
- ・福祉教育への協力 など

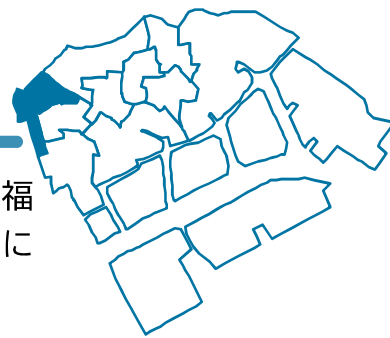


福祉教育への協力

2

中央第二地区

川崎駅が近く、交通の便が良い地域です。かわさき老人福祉・地域交流センターやかわさき健康づくりセンターが近くにあり、健康づくり活動の拠点となっています。



対象エリア

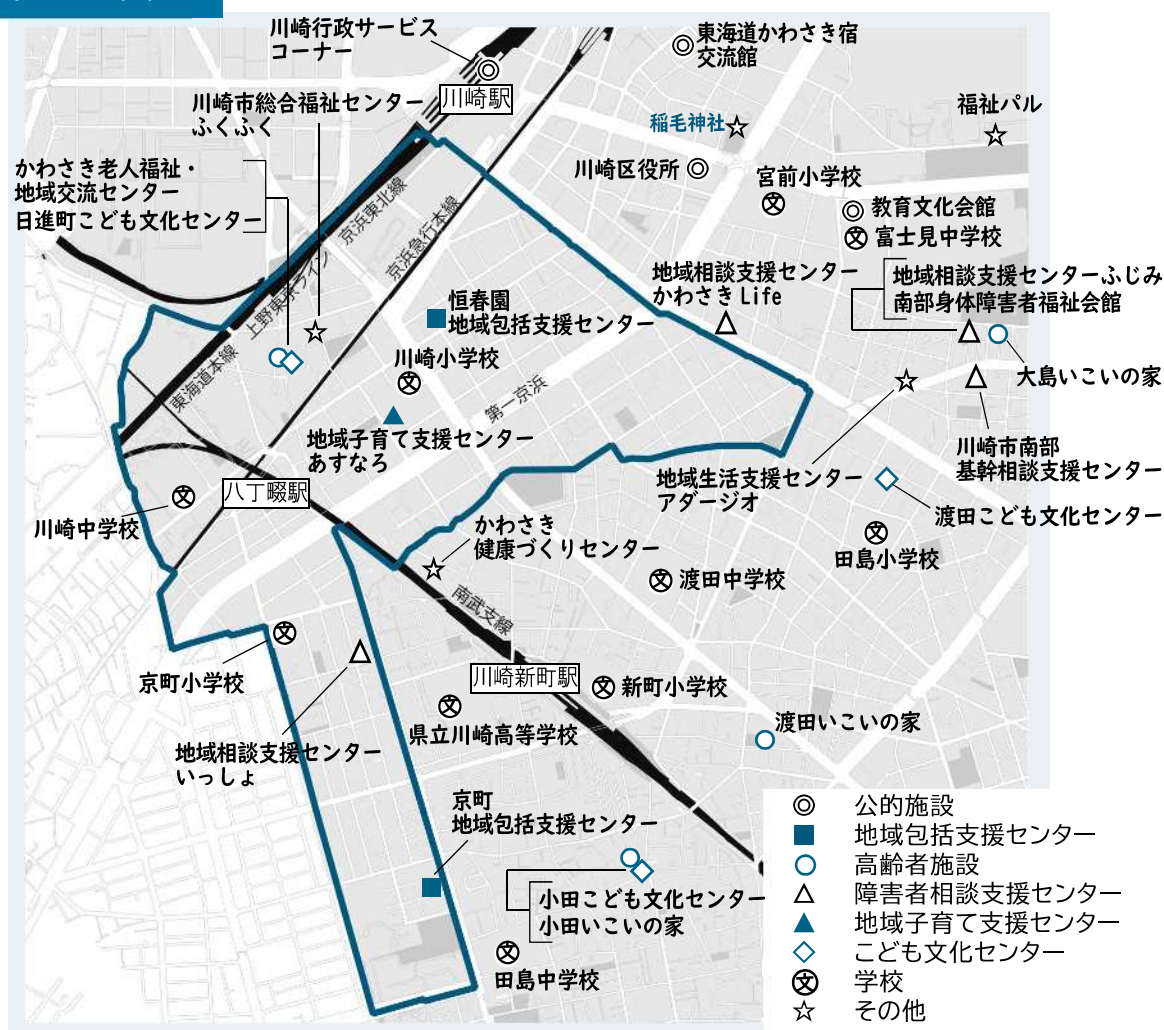
貝塚1丁目	貝塚2丁目	元木1丁目	元木2丁目	下並木
池田1丁目	池田2丁目	京町1丁目	京町2丁目	日進町
小川町	南町	堤根		

人口動態

	人口(人)					高齢化率 (%)	世帯数 (世帯)
	地区人口	14歳以下	15~64歳	65~74歳	75歳以上		
平成29(2017)年	32,100	2,925	22,706	3,553	2,916	20.2	19,517
令和2(2020)年	33,003	2,854	23,549	3,422	3,178	20.0	20,480
令和5(2023)年	32,960	2,520	23,836	3,175	3,429	20.0	21,123

資料：川崎市統計情報「町丁別年齢別人口」(各年6月末日現在)

地区の地図



地域の相談支援機関

子育て	地域子育て支援センター あすなろ
高齢者	恒春園地域包括支援センター 京町地域包括支援センター
障害者	地域相談支援センター いっしょ

地区の詳しい情報は
ホームページ上の
「川崎区地区カルテ」を
ご覧ください。



川崎区地区カルテ

検索

※相談支援機関の詳細は、資料編の「(1)川崎区の施設案内」(102～106ページ)に掲載しています。

中央第二地区で行った主な取組

テーマ	注目しあおう第2 のみまもり～私の街のみまもりを考えよう～
内容	地域で活躍している3団体の活動紹介と意見交換会を行いました。今後さらにさりげない見守り活動が広がっていくことをめざします。



中央第二地区社会福祉協議会が行っている主な事業・取組

- ・地域福祉懇談会
- ・地域福祉講演会
- ・社会を明るくする運動
- ・広報紙「きずな」発行
- ・赤い羽根共同募金活動
- ・視察研修／役員研修
- ・認知症予防カフェ「くるみクラブ」
- ・こども食堂「わいわいキッチン」など

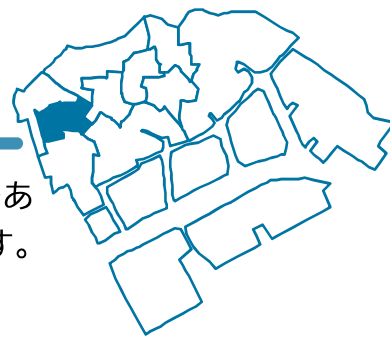


認知症予防カフェ「くるみクラブ」

3

渡田地区

市電通りを挟んで、東西に広がる地域です。住宅地が主であり、川崎駅からバスや徒歩圏内でアクセスしやすいエリアです。渡田いこいの家が地域の活動拠点となっています。



対象エリア

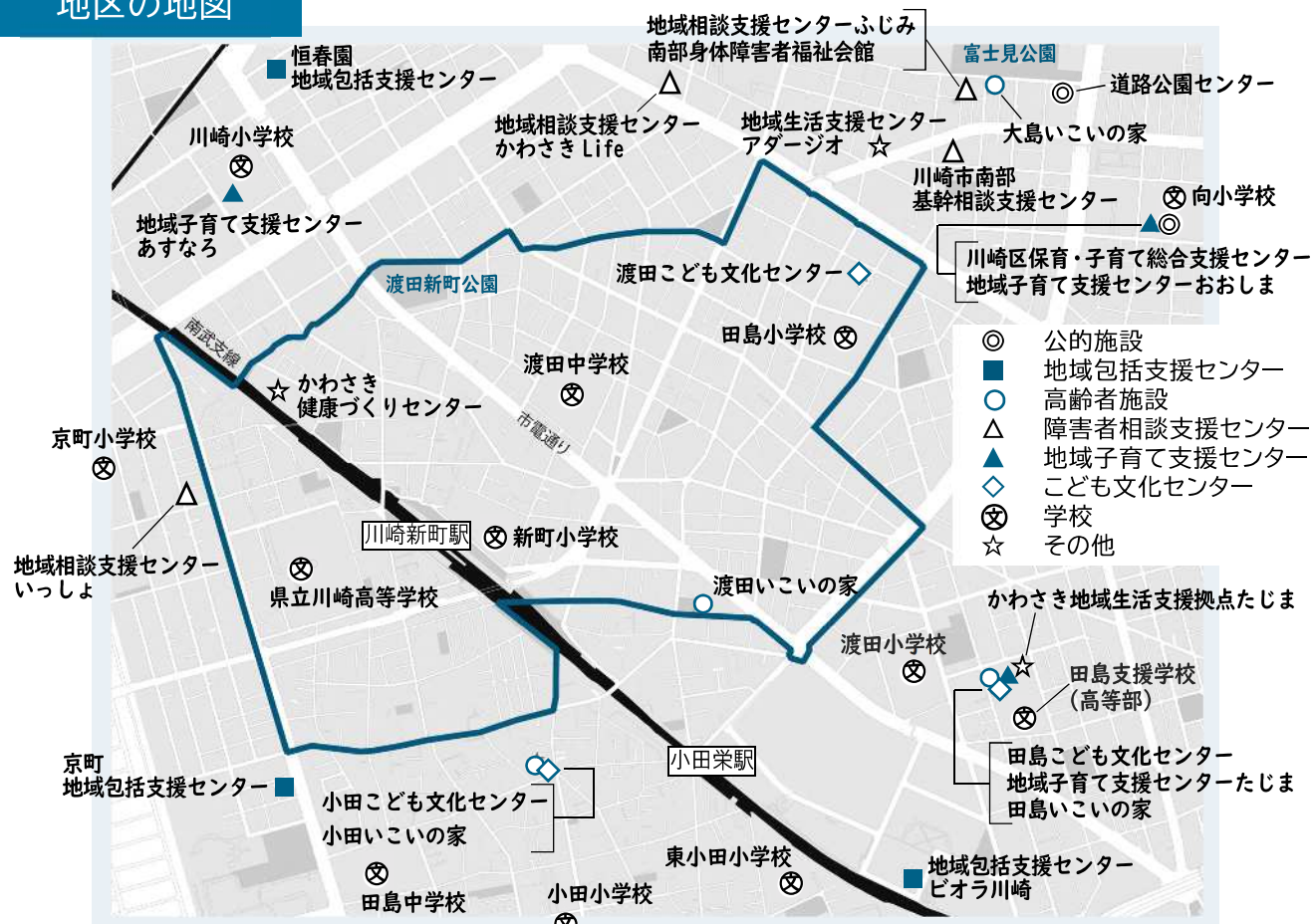
渡田1丁目	渡田2丁目	渡田3丁目	渡田4丁目	渡田向町
渡田新町1丁目	渡田新町2丁目	渡田新町3丁目	渡田山王町	渡田東町
小田1丁目				

人口動態

	人口(人)					高齢化率 (%)	世帯数 (世帯)
	地区人口	14歳以下	15~64歳	65~74歳	75歳以上		
平成29(2017)年	18,684	1,866	11,734	2,581	2,503	27.2	10,168
令和2(2020)年	18,926	1,872	11,973	2,492	2,589	26.8	10,483
令和5(2023)年	18,648	1,864	11,921	2,175	2,688	26.1	10,512

資料：川崎市統計情報「町丁別年齢別人口」(各年6月末日現在)

地区の地図



子育て	地域子育て支援センター おおしま
高齢者	地域包括支援センター ビオラ川崎
障害者	地域相談支援センター かわさきLife

検索

渡田地区で行った主な取組

テーマ	妊婦・子育て世代の見守り
内 容	妊婦・子育て世代を対象とした活動で世代間交流や見守り活動につながる実績を残してきました。今後の展開を検討しさらに膨らませようと考えています。

◆ 令和3年9月18日に実施されたアスダム卒業式 海田様ワークショップ「みんなであつた！」の思い出をいれて制作されたお礼の言葉をつくってくださり！

浪田地区の“子育て世代の見守り”について話し合いました

浪田地区の見守りネットワークが中心となって取り組まれている、今年7月6日（金）9月18日（土）の2回にわたって浪田地区の“子育て世代の見守り”について話し合いました。浪田地区の見守りネットワークのメンバーが中心となり、浪田地区の“子育て世代の見守り”について話し合いました。浪田地区の見守りネットワークのメンバーが中心となり、浪田地区の“子育て世代の見守り”について話し合いました。

良いところ	こんなことしています	こんなこととして欲しい
浪田地区の見守りネットワークが中心となり、浪田地区の“子育て世代の見守り”について話し合いました。	浪田地区の見守りネットワークが中心となり、浪田地区の“子育て世代の見守り”について話し合いました。	浪田地区の見守りネットワークが中心となり、浪田地区の“子育て世代の見守り”について話し合いました。
浪田地区の見守りネットワークが中心となり、浪田地区の“子育て世代の見守り”について話し合いました。	浪田地区の見守りネットワークが中心となり、浪田地区の“子育て世代の見守り”について話し合いました。	浪田地区の見守りネットワークが中心となり、浪田地区の“子育て世代の見守り”について話し合いました。
浪田地区の見守りネットワークが中心となり、浪田地区の“子育て世代の見守り”について話し合いました。	浪田地区の見守りネットワークが中心となり、浪田地区の“子育て世代の見守り”について話し合いました。	浪田地区の見守りネットワークが中心となり、浪田地区の“子育て世代の見守り”について話し合いました。

子どもたちの見守りネットワークを作りたい

交流の機会を作りたい

高齢者の方々ができそうなこと

若い方々ができそうなこと

妊娠期からの声かけで“近所の子”が“知っている子”になる

子育てサロン 子育て世代のつながり

子育てサロン&保育園見学会

浪田地区の見守りネットワークが中心となり、浪田地区の“子育て世代の見守り”について話し合いました。

子育てサロン

2023年9月21日(木)

申込締切日:2023年8月1日 AM9 時から先着 10名

生活時間: 平日15時から17時(土日祝日 10時から12時)

生活時間: AM 9 時 30 分

申込: 浪田地区の見守りネットワークが中心となり、浪田地区の“子育て世代の見守り”について話し合いました。

浪田地区の見守りネットワークが中心となり、浪田地区の“子育て世代の見守り”について話し合いました。

浪田地区の見守りネットワークが中心となり、浪田地区の“子育て世代の見守り”について話し合いました。

浪田地区の見守りネットワークが中心となり、浪田地区の“子育て世代の見守り”について話し合いました。

- ・地域福祉懇談会
- ・地域福祉講演会
- ・社会を明るくする運動
- ・ふれあい会食会
- ・広報紙「社協わたりだ」発行
- ・赤い羽根共同募金活動
- ・障害者施設でのボランティア活動
- ・はつらつ演芸大会
- ・連合若竹会の行事関連
- ・福祉協力員の委嘱及び研修
- ・「子育てサロンわたりだ」
- ・「見守りネットワーク」への協力

- ・ミニデイ「ほのぼの会」
- ・ボッチャ大会、羽根つき大会等の開催
- ・福祉教育への協力 など

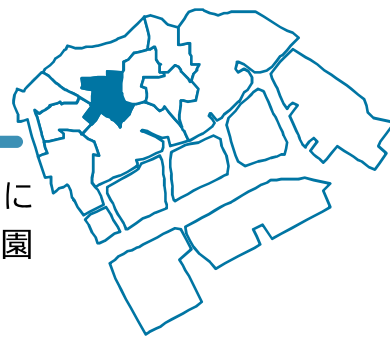


ミニデイ「ほのぼの会」

4

大島地区

新川通りや富士見通り沿いにある地域です。令和元年度に開所した川崎市保育・子育て総合支援センターや富士見公園などの住民が集う場や相談機関が多数存在するエリアです。



対象エリア

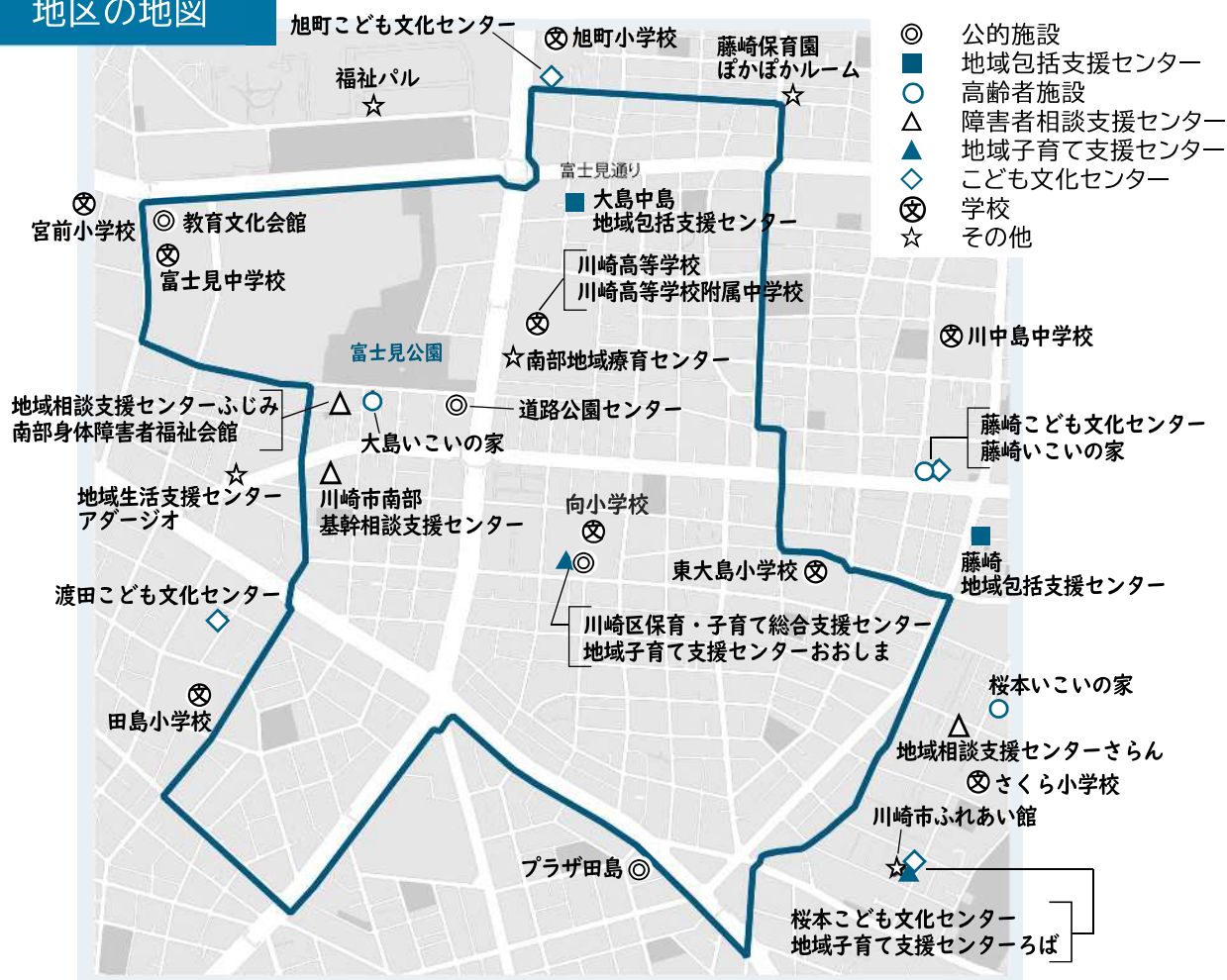
大島1丁目 大島上町	大島2丁目 中島1丁目	大島3丁目 中島2丁目	大島4丁目 中島3丁目	大島5丁目 富士見2丁目
---------------	----------------	----------------	----------------	-----------------

人口動態

	人口(人)					高齢化率 (%)	世帯数 (世帯)
	地区人口	14歳以下	15～64歳	65～74歳	75歳以上		
平成29(2017)年	19,273	2,147	12,248	2,528	2,350	25.3	10,139
令和2(2020)年	19,340	2,091	12,341	2,424	2,484	25.4	10,399
令和5(2023)年	18,977	1,997	12,188	2,222	2,570	25.3	10,434

資料：川崎市統計情報「町丁別年齢別人口」(各年6月末日現在)

地区の地図



地域の相談支援機関

子育て	地域子育て支援センター おおしま
高齢者	大島中島地域包括支援センター
障害者	地域相談支援センター ふじみ

地区の詳しい情報は
ホームページ上の
「川崎区地区カルテ」を
ご覧ください。



川崎区地区カルテ

検索

※相談支援機関の詳細は、資料編の「(1)川崎区の施設案内」(102～106ページ)に掲載しています。

大島地区で行った主な取組

テーマ	高齢者の居場所づくり
内容	住民と行政が共同しながら定期的な集いの場を開催し、体操や交流を通して健康づくりや住民同士の見守り活動を展開しています。今後も活動内容を検討し、地域に発展させていくことをめざします。



大島地区社会福祉協議会が行っている主な事業・取組

- ・地域福祉講演会
- ・社会を明るくする運動
- ・ふれあい会食会
- ・広報紙「社協おおしま」発行
- ・赤い羽根共同募金活動
- ・小地区見守り福祉協力員の委嘱及び研修
- ・地域福祉施設の見学
- ・福祉問題の勉強会開催 など

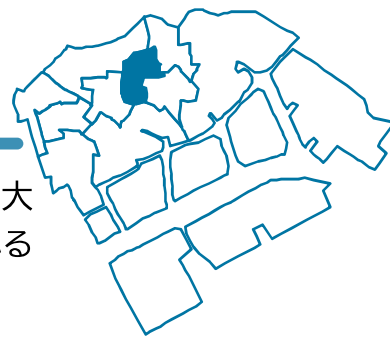


地域福祉講演会

5

大師第一地区

交通の便が良い地域で、教育文化会館大師分館（プラザ大師）があります。駅前には大型マンションが建ち、駅から離れると一戸建を中心とした住宅地が広がっています。



対象エリア

大師駅前1丁目	大師駅前2丁目	川中島1丁目	川中島2丁目	伊勢町
藤崎1丁目	藤崎2丁目	藤崎3丁目	藤崎4丁目	

人口動態

	人口(人)					高齢化率 (%)	世帯数 (世帯)
	地区人口	14歳以下	15～64歳	65～74歳	75歳以上		
平成29(2017)年	21,122	2,217	13,647	2,747	2,511	24.9	10,981
令和2(2020)年	22,700	2,393	14,875	2,690	2,742	23.9	12,126
令和5(2023)年	22,454	2,370	14,720	2,475	2,889	23.9	12,282

資料：川崎市統計情報「町丁別年齢別人口」(各年6月末日現在)

地区の地図

- ◎ 公的施設
- 地域包括支援センター
- 高齢者施設
- △ 障害者相談支援センター
- ◇ 地域子育て支援センター
- ◇ 子どもの文化センター
- ⊗ 学校
- ☆ その他



地域の相談支援機関

子育て	藤崎保育園ぽかぽかルーム
高齢者	藤崎地域包括支援センター
障害者	地域相談支援センター ふじみ

地区の詳しい情報は
ホームページ上の
「川崎区地区カルテ」を
ご覧ください。



川崎区地区カルテ

検索

※相談支援機関の詳細は、資料編の「(1)川崎区の施設案内」(102～106ページ)に掲載しています。

大師第一地区で行った主な取組

テーマ	安心して過ごせる居場所づくり
内容	高齢者・子どもの各分野での居場所づくりを目標にした様々な取組(高齢者お茶飲みサロン、親子カフェ、こども食堂)を展開しています。



大師第一地区社会福祉協議会が行っている主な事業・取組

- ・地域福祉懇談会
- ・地域福祉講演会
- ・社会を明るくする運動
- ・ふれあい会食会
- ・広報紙「地域だより」発行
- ・赤い羽根共同募金活動
- ・視察研修会
- ・敬老行事
- ・高齢者向けサロン「高齢者お茶飲みサロン」
- ・子ども食堂「にこにこだるまさん」など



子ども食堂「にこにこだるまさん」

6

大師第二地区

住宅地が主となっているエリアであり、産業道路を挟んで両側に広がる地域です。学校の他に福祉施設や大型商業施設などがあり、行事等でも連携しています。



対象エリア

四谷上町	四谷下町	観音1丁目	観音2丁目	池上新町1丁目
池上新町2丁目	池上新町3丁目	台町		

人口動態

	人口(人)					高齢化率 (%)	世帯数 (世帯)
	地区人口	14歳以下	15~64歳	65~74歳	75歳以上		
平成29(2017)年	19,355	2,442	12,457	2,279	2,177	23.0	9,689
令和2(2020)年	19,542	2,297	12,680	2,179	2,386	23.4	10,106
令和5(2023)年	19,369	2,210	12,612	2,061	2,486	23.5	10,224

資料:川崎市統計情報「町丁別年齢別人口」(各年6月末日現在)

地区の地図



地域の相談支援機関

子育て	地域子育て支援センター での
高齢者	大師中央地域包括支援センター
障害者	地域相談支援センター ふじみ

地区の詳しい情報は
ホームページ上の
「川崎区地区カルテ」を
ご覧ください。



川崎区地区カルテ

検索

※相談支援機関の詳細は、資料編の「(1)川崎区の施設案内」(102～106ページ)に掲載しています。

大師第二地区で行った主な取組

テーマ	幅広い世代の居場所づくり
内 容	認知症予防カフェや多世代交流サロンを通じて、幅広い世代の居場所づくりに取り組んでいます。

令和元年度 大師第二地区民生委員協議会 報告書
地域福祉懇談会「災害網上訓練 DIG」を通じてまちの特徴を知ろう
令和2年2月25日(火) 14:00～ 主催：大師第二地区社会福祉協議会

① 大師第二地区で想定される風水害【中村 健一(元川崎市消防局職員) 先生の話】

●土砂災害の発生は、大雨による土砂の崩壊、崖の崩壊、土砂の流入などによって、人命や財産の被害が生じます。
●土砂災害の発生は、大雨による土砂の崩壊、崖の崩壊、土砂の流入などによって、人命や財産の被害が生じます。
●土砂災害の発生は、大雨による土砂の崩壊、崖の崩壊、土砂の流入などによって、人命や財産の被害が生じます。

② 風水害に関する地域の情報、取り組み等を再発見【災害網上訓練 DIG】

中村先生の話を聞きながら、町会単位で地域の防災マップを作成しました。

③ 地域でできる対策・取り組みを考える【災害網上訓練 DIG】

地域でできる対策・取り組みを考える。災害網上訓練 DIG

④ まとめ その地域防災マップ【中村 健一 先生の話】

●全戸で話し合い、地域の防災マップを作成しました。
●防災マップの作成は、地域の防災意識を高め、防災対策を推進する上で、非常に有効です。
●防災マップの作成は、地域の防災意識を高め、防災対策を推進する上で、非常に有効です。

かんのんちよう
おしゃべりサロン

外に出て幅広い世代の方と楽しい時間を過ごしませんか？昨年から始まったサロン、初めての方も大歓迎です。小さなお子様連れの方も安心の 雪のお部屋で授乳室もご用意しています。

日時：5月26日(金曜日) 毎月第4金曜日
10時30分～12時

会場：観音町内会館(観音2-1-20)

対象人数：先着20名程度

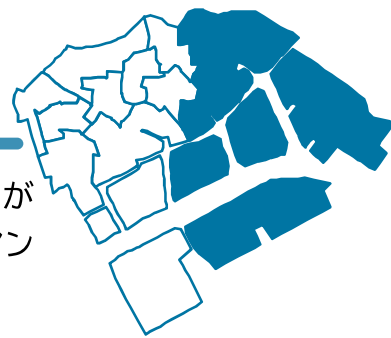
お茶を飲んだり、お菓子をつまんだりしながら
おしゃべりませんか？念のためマスクをご持参ください。皆様、ふるってご参加ください。

大師第二地区社会福祉協議会が行っている主な事業・取組

- ・地域福祉懇談会
- ・社会を明るくする運動
- ・ふれあい会食会
- ・広報紙「きずな」発行
- ・赤い羽根共同募金活動
- ・役員研修
- ・カローリング・ボッチャ体験
- ・生き活き茶防 など



ボッチャ体験



臨海部に面しており、工場地帯の企業と地域のつながりがある地域です。子育て支援施設が複数あり、駅周辺の大型マンションには子育て世代が多く住んでいます。

対象エリア

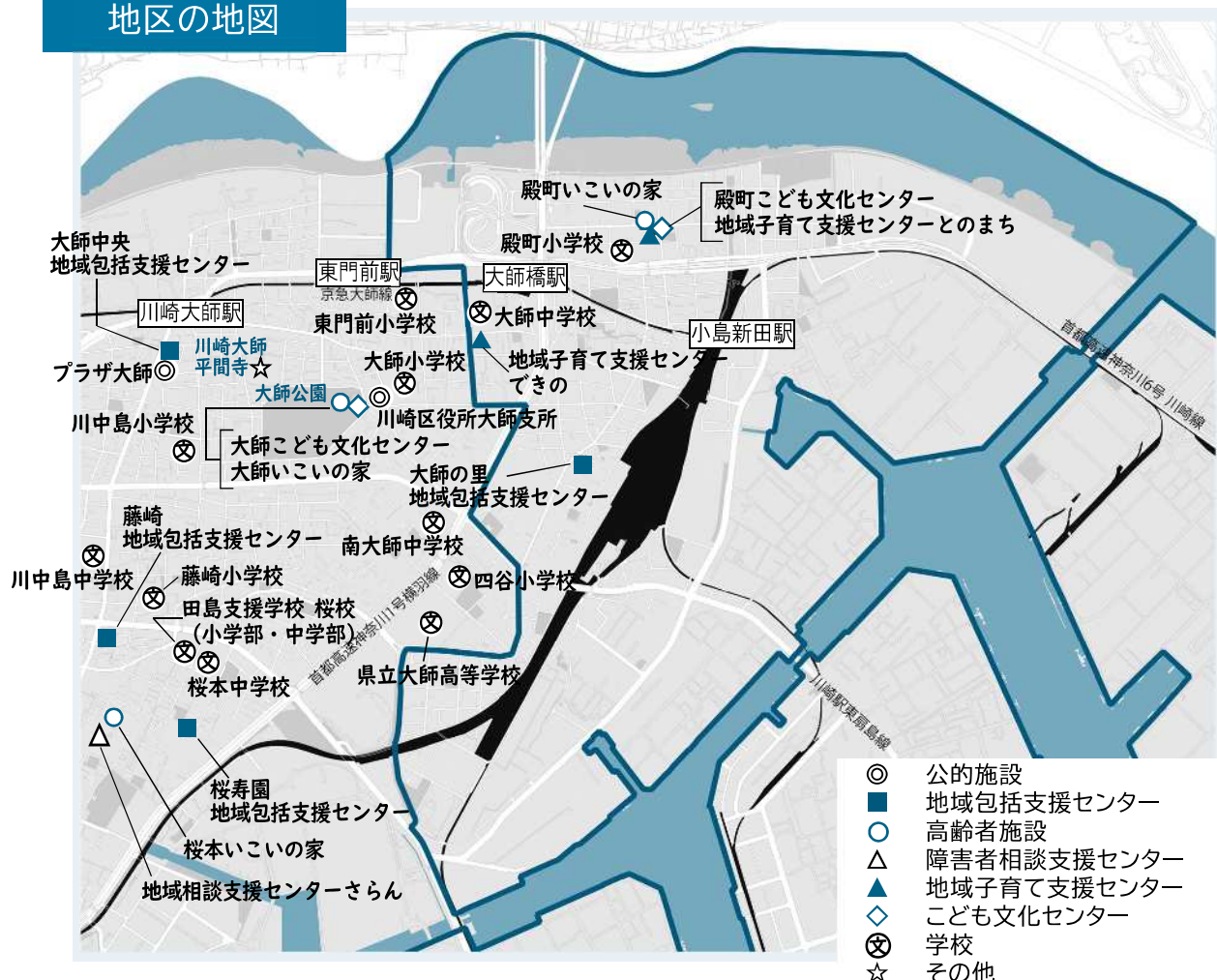
殿町1丁目	殿町2丁目	殿町3丁目	出来野	大師河原1丁目
大師河原2丁目	江川1丁目	江川2丁目	田町1丁目	田町2丁目
田町3丁目	塩浜1丁目	塩浜2丁目	塩浜3丁目	塩浜4丁目
日ノ出1丁目	日ノ出2丁目	夜光1丁目	夜光2丁目	夜光3丁目
浮島町	小島町	千鳥町	東扇島	水江町

人口動態

	人口(人)					高齢化率 (%)	世帯数 (世帯)
	地区人口	14歳以下	15～64歳	65～74歳	75歳以上		
平成29(2017)年	18,409	2,354	12,635	1,848	1,572	18.6	9,678
令和2(2020)年	18,975	2,227	13,229	1,806	1,713	18.5	10,325
令和5(2023)年	19,052	2,043	13,463	1,698	1,848	18.6	10,625

資料：川崎市統計情報「町丁別年齢別人口」(各年6月末日現在)

地区の地図



地域の相談支援機関

子育て	地域子育て支援センター とのまち 地域子育て支援センター での
高齢者	大師の里地域包括支援センター
障害者	地域相談支援センター さらん

地区の詳しい情報は
ホームページ上の
「川崎区地区カルテ」を
ご覧ください。



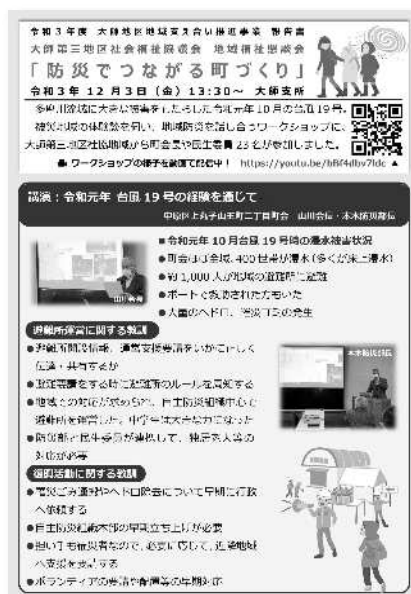
川崎区地区カルテ

検索

※相談支援機関の詳細は、資料編の「(1)川崎区の施設案内」(102～106ページ)に掲載しています。

大師第三地区で行った主な取組

テーマ	防災でつながる町づくり
内 容	令和元年の東日本台風の被災地域の体験談を伺うとともに、地域防災を話し合うワークショップを行い、災害に対する取組状況や今後の課題等について共有しました。



大師第三地区社会福祉協議会が行っている主な事業・取組

- ・地域福祉懇談会
- ・社会を明るくする運動
- ・ふれあい会食会
- ・赤い羽根共同募金活動
- ・役員研修
- ・敬老行事
- ・車イス体験
- ・福祉教育への協力
- ・子どもの食糧支援「みんなのごはん」
- ・ほほえみ元気体操 など



子どもの食糧支援「みんなのごはん」

8

大師第四地区

川崎大師平間寺の周辺を取り巻く古くからの門前町であり、川崎区役所大師支所がある地域です。大師公園など、子どもを連れて行ける通いの場が充実しています。



対象エリア

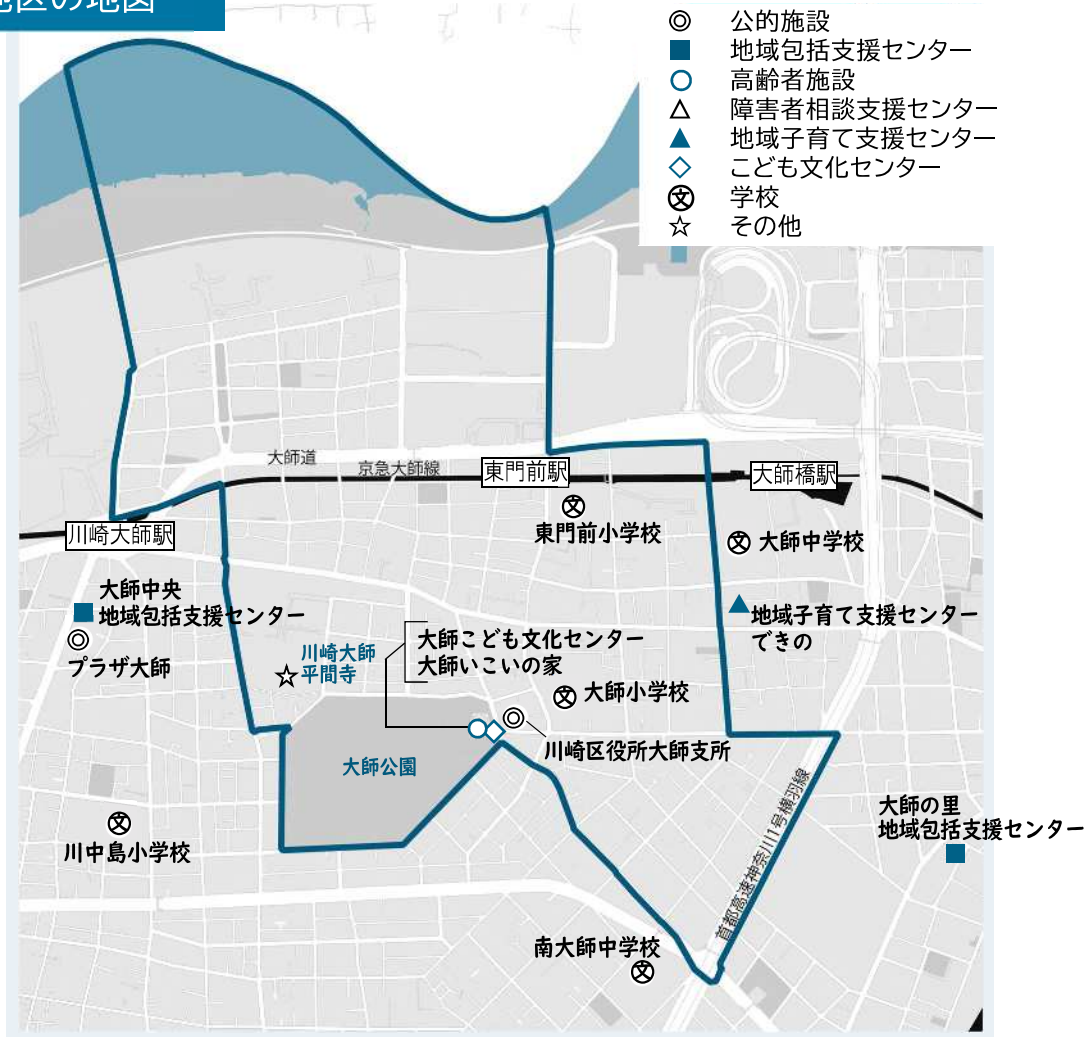
大師本町	大師町	東門前1丁目	東門前2丁目	東門前3丁目
昭和1丁目	昭和2丁目	中瀬1丁目	中瀬2丁目	中瀬3丁目
大師公園				

人口動態

	人口(人)					高齢化率 (%)	世帯数 (世帯)
	地区人口	14歳以下	15~64歳	65~74歳	75歳以上		
平成29(2017)年	17,300	2,714	10,974	1,909	1,703	20.9	8,320
令和2(2020)年	17,546	2,493	11,425	1,820	1,808	20.7	8,797
令和5(2023)年	17,388	2,063	11,695	1,683	1,947	20.9	9,081

資料：川崎市統計情報「町丁別年齢別人口」(各年6月末日現在)

地区の地図



地域の相談支援機関

子育て	地域子育て支援センター での
高齢者	大師の里地域包括支援センター 大師中央地域包括支援センター
障害者	地域相談支援センター ふじみ 地域相談支援センター さらん

地区の詳しい情報は
ホームページ上の
「川崎区地区カルテ」を
ご覧ください。



川崎区地区カルテ

検索

※相談支援機関の詳細は、資料編の「(1)川崎区の施設案内」(102～106ページ)に掲載しています。

大師第四地区で行った主な取組

テーマ	みんなで知ろう認知症のこと
内容	認知症に対する理解を深める講座を開催するとともに、認知症になっても地域で安心して生活できる意識づくりのためのワークショップを行い、作成したリーフレットを町会や近隣の小学校に配布しました。



大師第四地区社会福祉協議会が行っている主な事業・取組

- ・地域福祉懇談会
- ・社会を明るくする運動
- ・ふれあい会食会
- ・広報紙「しあわせ」発行
- ・赤い羽根共同募金活動
- ・「福祉体験授業」への協力・支援
- ・健康体操講座の開催
- ・地域のボランティアグループの支援
- ・いこい喫茶
- ・ほほえみ元気体操
- ・敬老行事
- ・子どもの食糧支援「みんなのごはん」
- ・大師なかよしひろば など



子どもの食糧支援「みんなのごはん」



臨海部の企業とともに発展した古い歴史のある地域です。
川崎市役所田島支所や教育文化会館田島分館（プラザ田島）
といった公的機関や福祉関連施設・拠点多く存在します。

対象エリア

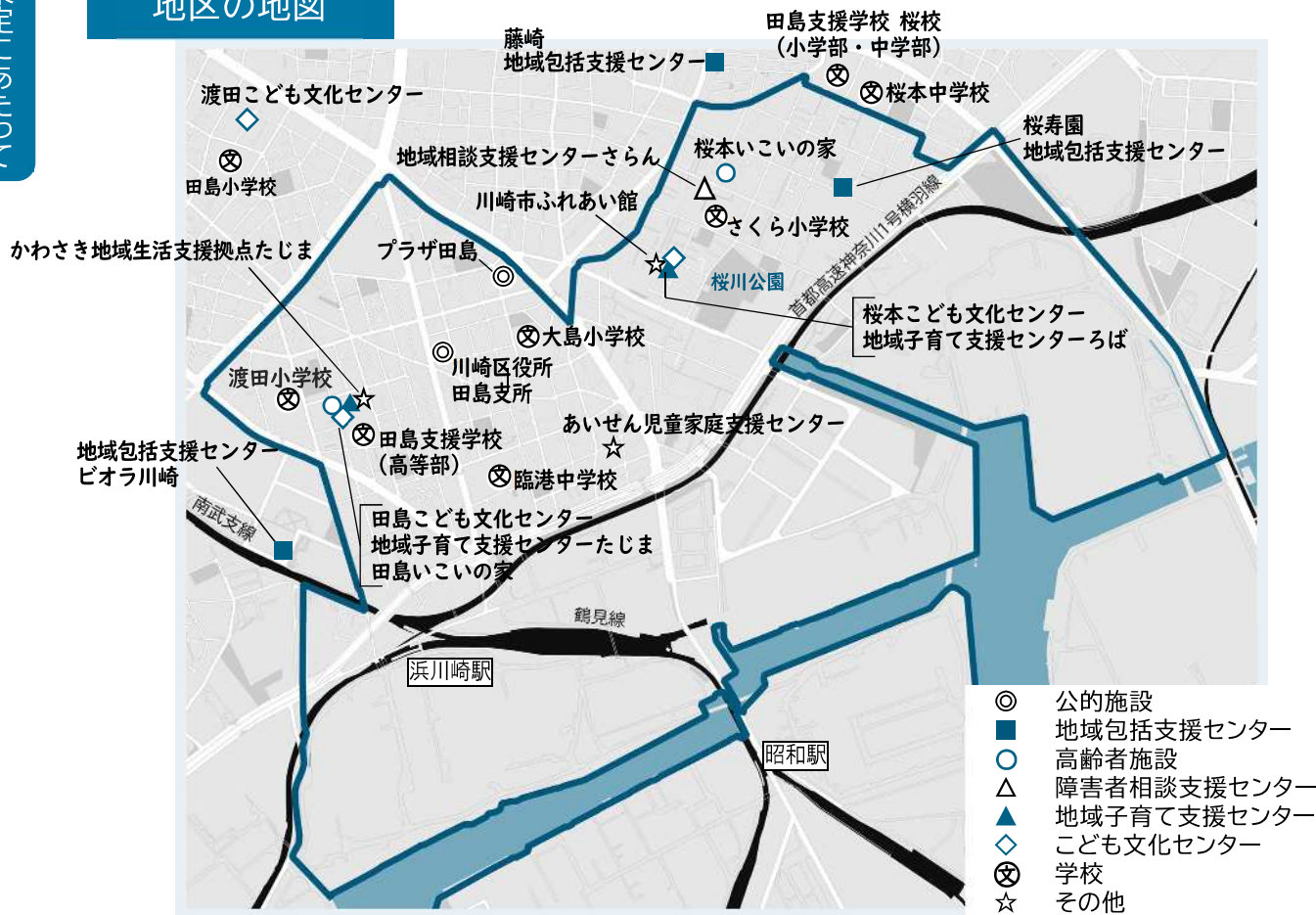
鋼管通1丁目	鋼管通2丁目	鋼管通3丁目	鋼管通4丁目	鋼管通5丁目
浜町1丁目	浜町2丁目	浜町3丁目	浜町4丁目	桜本1丁目
桜本2丁目	池上町	扇町	田島町	追分町
浅野町	南渡田町	扇島		

人口動態

	人口(人)					高齢化率 (%)	世帯数 (世帯)
	地区人口	14歳以下	15～64歳	65～74歳	75歳以上		
平成29(2017)年	24,810	2,726	15,742	3,373	2,969	25.6	13,187
令和2(2020)年	24,687	2,465	15,769	3,282	3,171	26.1	13,609
令和5(2023)年	23,856	2,172	15,270	3,088	3,326	26.9	13,522

資料：川崎市統計情報「町丁別年齢別人口」(各年6月末日現在)

地区の地図



地域の相談支援機関

子育て	地域子育て支援センター ろば 地域子育て支援センター たじま
高齢者	桜寿園地域包括支援センター
障害者	地域相談支援センター さらん

地区の詳しい情報は
ホームページ上の
「川崎区地区カルテ」を
ご覧ください。



川崎区地区カルテ

検索

※相談支援機関の詳細は、資料編の「(1)川崎区の施設案内」(102～106ページ)に掲載しています。

田島地区で行った主な取組

テーマ	「居場所」について考える
内容	地域における「居場所」や「つながり」について、関係団体と行政が意見交換を行うとともに、地域住民がどのような「居場所」を必要としているかヒアリング調査をしました。



田島地区社会福祉協議会が行っている主な事業・取組

- ・地域福祉講演会
- ・社会を明るくする運動
- ・ふれあい会食会
- ・広報紙「社協田島」発行
- ・赤い羽根共同募金活動
- ・福祉のつどい
- ・カローリング大会
- ・地域福祉施設の見学会
- ・福祉教育への協力 など

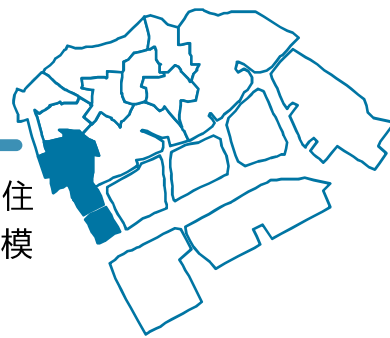


カローリング大会

10

小田地区

古くからの住宅が密集している地域であり、小田公園は住民の様々な活動の場となっています。近年、工場跡地に大規模マンションが建設され、新しい住民が増えています。



対象エリア

浅田1丁目	浅田2丁目	浅田3丁目	浅田4丁目	京町3丁目
小田2丁目	小田3丁目	小田4丁目	小田5丁目	小田6丁目
小田7丁目	白石町	大川町	田辺新田	小田栄1丁目
小田栄2丁目				

人口動態

	人口(人)					高齢化率 (%)	世帯数 (世帯)
	地区人口	14歳以下	15~64歳	65~74歳	75歳以上		
平成29(2017)年	32,734	4,586	20,701	3,898	3,549	22.8	15,838
令和2(2020)年	32,717	4,289	20,670	3,901	3,857	23.7	16,412
令和5(2023)年	31,964	3,824	20,416	3,725	3,999	24.2	16,487

資料：川崎市統計情報「町丁別年齢別人口」(各年6月末日現在)

地区の地図



地域の相談支援機関

子育て	地域子育て支援センター あさだ
高齢者	京町地域包括支援センター 地域包括支援センター ビオラ川崎
障害者	地域相談支援センター いっしょ 地域相談支援センター かわさき Life

地区の詳しい情報は
ホームページ上の
「川崎区地区カルテ」を
ご覧ください。



川崎区地区カルテ

検索

※相談支援機関の詳細は、資料編の「(1)川崎区の施設案内」(102～106 ページ)に掲載しています。

小田地区で行った主な取組

テーマ	私たちのまちをもっと住みやすい街に
内容	地域の小学校と共にあいさつ運動を展開し住民全体への周知を図ってきました。今後は住民同士のつながりを強化し見守り活動を発展させていきます。



小田地区社会福祉協議会が行っている主な事業・取組

- ・地域福祉懇談会
- ・地域福祉講演会
- ・社会を明るくする運動
- ・ふれあい会食会
- ・広報紙「小田社協」発行
- ・赤い羽根共同募金活動
- ・役員研修
- ・敬老行事
- ・あいさつ運動
- ・男性の料理教室
- ・福祉教育への協力 など



地域福祉懇談会